

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	浅見 幸彦	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3389		事務事業名称		読書教育推進事業					短縮コード		経常	3389		臨時				
予算区分		会計	01	一般会計		款	10	教育費			項	01	教育総務費			目	03	教育振興費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		学校教育法第 8 5 条、学校図書館法第 4 条第 2 項、第 6 条、子どもの読書活動の推進に関する法律												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																				
児童生徒の読書活動の充実のために読書感想文コンクール・図書主任研修会の開催，読書指導員の配置を行った。																				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	小中学校児童生徒及び教職員											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 各学期に1回の図書主任研修会開催。読書感想文集「やちよ」作成。市内全小中学校に読書指導員を配置。											
	※平成24年度に計画していること： 23年度と同様。											
意図 （何を狙っているのか）	図書主任をはじめ教職員の資質の向上。児童生徒を読書に親しませるとともに、基礎学力の向上を図る。児童生徒の読書活動の充実。教員の読書指導に対する見識を高め、推進を図る。											
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外											
区 分				単位	22年度		23年度		24年度			
					実績		計画		実績		計画	
対象指標	指標1	各学校図書主任数	人		34		34		34		34	
	指標2	読書指導員配置校児童生徒数	人		16,874		16,882		16,661		16,739	
	指標3	小中学校児童数	人		16,874		16,882		16,661		16,739	
活動指標	指標1	参加図書主任数	人		34		34		34		34	
	指標2	各校図書貸出総数	冊		148,653		150,000		76,571		134,000	
	指標3	読書感想文応募総数	点		9,196		9,000		8,867		9,000	
成果指標	指標1	参加図書主任数／各学校図書主任数	%		100		100		100		100	
	指標2	読書感想文応募総数／児童生徒数	%		54.5		53.3		53.2		53.7	
	指標3	各学校図書貸出冊数／指導員配置校児童数	冊		8.8		8.9		4.6		8	
上位成果指標	指標1											
	指標2											
	指標3											

コード		3389	事務事業名称	読書教育推進事業			所属名	指導課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0				
		県	千円	0				
		地方債	千円	0				
		一般財源	千円	7, 613	7, 863	7, 732	7, 863	
		その他	千円	0				
	主な事業費の内訳			読書指導員賃金 印刷製本費	読書指導員賃金 印刷製本費	読書指導員賃金 印刷製本費	読書指導員賃金 印刷製本費	
人件費 (B)			千円	1, 152. 9	1, 133. 2	1, 133. 2	1, 133. 2	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	8, 765. 9	8, 996. 2	8, 865. 2	8, 996. 2	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由			
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位の施策「学習・生徒指導の充実」の推進のため，読書感想文コンクール，図書主任研修会の開催，読書指導員の配置を行っており，結びついている。			
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		学校教育では，毎年，児童生徒が進級・進学し，対象となる児童生徒が入れ替わるため，単年度ごとに所期目的を意識した取り組みが必要と考える。また，教職員は新規採用者が増加しており，今後図書主任に未経験者が就くことが考えられ，継続的な研修が必要である。さらに，研修内容を検討し現在の読書活動に求められていることにもふれていく必要がある。			
☒ 達成していない								
☐ 評価対象外事項								
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		本事業は公教育として行っており，民営化にはなじまない。				
		☒ 可能性はない						
		☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		所期目的に変更はなく，現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。				
		☐ 見直す必要がある						
		☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある					
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		2 3 名の読書指導員のうち半数の 1 1 名が小学校，中学校の併任となっている。読書指導員が，授業に参加し教職員と共働して読書指導にあたるためにも，読書指導員を増員し，小中学校に専属の指導員を配置することで，児童生徒の読書活動を一層充実させることができる。				
		☒ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
		☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
		☐ 受益者負担の見直し						
		☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
		☐ 上記以外の方法					2	
⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		読書指導員増員に伴う経費増。				
		☐ ない						

コード	3389	事務事業名称	読書教育推進事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			読書教育の充実を図るために、専門的知識や経験を有した読書指導員の授業への参加が必要である。そのためにも、読書指導員の各校への専任配置，配置時間の増加を希望していく。今後の読書教育の方向性を共通理解する内容の研修や実施内容の確認や紹介もしていく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			新学習指導要領改訂の中でも、読書活動の充実が重視されている。読書指導の一層の充実を図るため、読書指導員の各校への専任配置，配置時間の増加を希望するため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
読書教育推進の核となる各校図書主任をはじめ教職員及び読書指導員等の資質の向上が望まれている。読書の効果が再認識され、学校や図書館における読書教育や読書活動のますますの充実が望まれている。									

所属長コメント	県の教育振興基本計画の中にも「読書県ちば」が示され、本市でも「八千代市子ども読書活動推進計画」の策定が進められている。今後、読書教育を推進するための政策，社会的ニーズはさらに増加していくものと考えられる。また，平成２２年度，２３年度の２年間で市内全小中学校の図書館蔵書の電算化を終え，読書指導員の専任配置や学校間ネットワークの実現等，導入されたシステムをいかして，読書指導の一層の充実を推進していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			現状のまま継続とするが，読書指導員の配置等については，費用対効果を踏まえて，今後も検討を行っていくこと。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									